文化の足跡 TRACES

小林の郷土芸能③～岩戸神楽・岡原田の神踊り～

Vol.58

『岩戸神楽』（堤・水流迫地区）

岩戸神楽は、霧島山麓の各地に伝わる「神舞（かんめ）」の一つで、無病息災、五穀豊穣に対する感謝として舞われてきました。戦後、今から50年前（昭和36年）復活、現在小林市堤・水流迫地区の保存会が中心となり、二間四方の角に立てた葉竹に注連縄を張り、御幣、彫り物、榊を飾った神庭で岩戸神社六月燈祭（7月30日）に、祭神手力男命にちなんだ、三十三番神舞中「天の岩戸びらき」「剣の舞」「薙刀の舞」の三節を古代色神秘的優雅さと、力強さで舞い継がれています。

岩戸神楽

『岡原田の神踊り』（北西方地区）

別名「めしげ踊り」ともいい、約800年前、肥後・薩摩を中心に唄い踊られた豊年踊りです。田の神踊りは、屈強な農民姿の青年たちが出端歌を歌い、先頭に神の依代とする削り掛けを持っておごそかに庭入りするところから始まり、笛に合わせて地面を祓い、七・七調の相撲口説にのせてメシゲを打ち鳴らして勇壮に踊ります。現在でも岡原地区を中心に保存伝承が行われ、永久津夏祭りや永久津小中学校運動会などで披露されています。

岡原田の神踊り

国際交流『シャネットの 徒然なるままに』 WORLD

デートは不可欠

Vol.20

「うるさいよ」とお兄ちゃん。

「大丈夫よ」とお婆ちゃん。

「いってくる～」とママとパパ。

「わーん」とわたし。

小さいころ、ママとパパがお兄ちゃんと私を置いて、2人で出かけることが苦手でした。なんだか不安になりました。それでも、たまには親戚か友達に預けられたりしました。5歳のころは1回、1週間もお婆ちゃんに預けられました。すごくいやでした。寂しかったです。

でも今なら、分かります。子どもがいても、両親には恋人として過ごせる時間が必要であること。

親になる前、夫婦でした。夫婦になる前、恋人でした。順番がバラバラな人もいるでしょうけど。

初デートは、わくわくだったでしょうか。結婚した日は、特別に特別だったでしょうか。なぜか日本では、結婚してからデートに行く人が少ないです。子どもが生まれてからは、もっと少ない気がします。良妻賢母のイメージには、子どもを置いて、出かけることが合わないですね。ですが、「親無くとも子は育つ」ということわざがあります。現代はどちらかというと、親に甘やかされすぎて、独立できない子どもが問題になっています。私の両親は今でもラブラブなカップルです。そのことはたいへん幸せなことだと感じています。私にとっても、そして言うまでもないですが、ラブラブのあの2人にとっても。今思うと、お兄ちゃんと一緒に時々友だちや親戚に預けられたことを我慢して、2人にデートをさせてあげることができてよかったです。

ラブラブな2人です

EDUCATION

「くりモンとゆかいな仲間たち」

須木中学校生徒会

須木中学校は、山や川など多くの自然に囲まれた、全校生徒38人の小さな学校です。

私たちはみんな明るく元気に学校生活を送っています。

また本校には、ゆるキャラがいます。名前は「くりモン」といい、私たちと先生方で協力して作ったキャラクターです。校内だけでなく、校外の行事にも参加し、須木の宣伝の一役を担っています。

本校は、須木小学校との小中一貫教育に力を入れており、小中合同の運動会、立志式、米作りなど活動も積極的に行っています。特に小中合同運動会では、小学生の元気よさと、中学生の力強さが合わさって、たいへん盛り上がる運動会となります。

生徒会活動も活発で、毎朝のボランティア活動として、清掃活動とあいさつ運動をしています。登校してくる仲間へ元気にあいさつをすると、みんな大きな声であいさつを返してくれます。冬には、大量の落ち葉があり、掃くのは大変ですが、みんなで協力をして頑張っています。また、毎月一回の生徒集会では、毎回、あいさつ練習を行い、あいさつに対する意識を高めています。時間があれば、レクリエーションも行い、仲間同士の絆も深めています。

毎年5月に開催している生徒総会では、いじめ追放宣言を全校生徒で唱和しています。

部活動では、少ない部員の中、みんなが切磋琢磨しながら、練習に励んでいます。その結果、県大会出場を決めた部活動もあります。

8月には、本校のグラウンドで花火大会があり、綺麗な花火が山間に広がり、とても感動的な光景が見られます。多くの人が須木に来てくれると嬉しいです。

くりモンとの集合写真

生徒集会でのレクリエーション

SPORTS

みやざき県民総合スポーツ祭

宮崎のスポーツの祭典「みやざき県民総合スポーツ祭」が6月7日から8日にかけて、県内各会場で開催されました。市からは38競技に約721人が出場しました。

個人・団体合わせて25の競技で優勝

今年のスポーツ祭では、個人17人、団体8チームが優勝しました。熱戦を制し栄冠を手にした競技を紹介します。

【優勝のみ・敬称・記録略】

◆陸上競技

▽男子

▼1500メートルC…齋藤貴憲

▼1500メートルG…種田昇

▼5キロメートルJ…齋藤和洋

▼砲丸投げL…留野重治

▽女子

▼1500メートルG…石橋節子

▼5キロメートルG…石橋節子

◆水泳

▽男子

▼70歳以上50メートル自由形…小川利廣

◆四半的弓道

▼男子の部…留野俊光

◆トランポリン

▽団体ジャンプ…小林A

▽個人ジャンプ

▼小学校低学年の部…甲斐詩

▼小学校高学年の部…立山昂生

▼中学校～19歳の部…吉ノ薗琉以

▼50歳～59歳の部…小玉由美

▼60歳～69歳の部…西加代子

▼70歳以上の部…伊藤美智子

▽団体シャトル…小林B

▽個人シャトル

▼小学校高学年の部…吉ノ薗琉以

▽団体総合…小林A

◆ミニバレーボール

▼男子1部…ホープ

▼男子2部…旬

▼女子2部…ロザリオ

◆ペタンク

▼総合…レインボー

▼交流…葵

◆ウェイトリフティング

▼105キロ級…殿所優太